

岡山県

# せいきょう連 ニュース

岡山県生活協同組合連合会 Tel: 086-221-4301 ホームページ <http://kenren.jccu.coop/okayama>

初秋の蒜山から大山をのぞむ

## エッセイ 故

三井造船生協は戦後混乱期の1950年に設立された。最初は造船所構内の1販売所のみであったが、居住地にも販売所をという希望があり、順次居住地への販売所(店舗)を拡充していった。

1956年には、「家庭会」が創設され、「出資・利用・運営」に積極的に参画、理事にも就任していただき今日に至っている。

「家庭会」の方々は生協活動の主体であり、環境、福祉、商品の各委員会を通じて、実に幅広い活動を展開していただいている。特に毎年開催のチャリティーバザーはその収益金全額を玉野市に寄付している。

昨年で29回となり寄付総額は約1,500万円となっており玉野市の福祉、教育向上等に役立てていただいている。

今年も10月11日に開催予定しているが、長年の協力が評価されて今年からは玉野市より“共催”通知が届いている。

## 筆

**中原 豊** (県生協連副会長・三井造船生協理事長)

3年前より居宅介護、(ケアマネ)通所介護(デイサービス)、福祉用具貸与事業の介護事業を行っているが、「家庭会」「くらしの助け合いの会」の方々がデイサービスに定期的に慰問に訪れていただいており、ご利用のみなさまに喜ばれていると共に“事業・活動の好循環”が出来ている。

また、社会福祉協議会とのつながりも深まり、11月1日開催の第2回「生協ふれあい祭り」には包括支援センターの職員による高齢者向け寸劇を行っていただく。この「ふれあい祭り」には社会福祉協議会が“後援”になっていただいている。

生協は物品供給、利用、共済での組合員サービス向上と共に、「家庭会」活動、介護事業、各種催し参加などの活動を通して市・地域との連携をさらに深め、“生協の存在感”をより高めていくことでも組合員さんへのサービス向上に努めたいと考えている。

# 生協・・最近の諸行事から・・

## ●児島湖流域清掃大作戦(岡山県主催)に参加しました

9月7日(日)朝7時30分から、地域や各種団体から多くの人たちが参加して、児島湖及び流域河川を中心に環境保全清掃大作戦が行われました。

県内の会員生協からも、おかやまコープの職員が36名、三井造船生協の家庭会環境委員10名が参加し、川床の汚泥の除去、沿道の雑草の刈り取り、空き缶・プラスチック類などのゴミを回収しました。



写真は三井造船生協提供↑

## ●第24回中四国生協・行政合同会議が9月2日(火)松山市道後にぎたつ会館で開催

「住みよい地域社会づくりにむけて～食、環境、消費者行政・・・」をテーマに、厚生労働省、9県の行政担当者、生協関係者合わせて68名が参加して行われました。

厚労省、日本生協連から挨拶と報告があり、その後、各県行政から生協への意見・期待と要望事項について報告がありました。



## ●県生協連医療部会が、おおさかヘルスcopeのグループホーム「ゆおびか」を訪問【9月25日】

県生協連医療部会の外部研修として13人が訪問、ボランティアの方や職員の活動などからしっかり学ぶことができました。

参加者は全員が認知症サポーター養成講座を受講し、めでたく終了しました。



写真は修了資格のオレンジリングを腕にバチリ↑

## ●「環境問題」で県連医療部会の組合員活動交流集会を開催

10月24日(金)、くらしき医療生協会館で、岡山医療、倉敷医療、津山医療の3生協から組合員・非常勤役員など50名が参加して行なわれました。

「えっ!こんなにもCO<sub>2</sub>が?～フードマイレージとは～」と題して、みずしま財団の白神 加奈子さんがワークショップ方式での講演。食料の生産地から食卓までの環境負荷の影響や普段の私たちの買い物行動を「フードマイレージ」を切り口に考えるお話しに、参加者は一様に感嘆し、地産地消の取り組みが地球温暖化防止にもつながることを学びました。講演の後は、3医療生協より環境活動の報告がされました。



# 第3回理事会 報告 開催日時 2008年10月10日(金)

## 〈報告事項〉

- 1)2008年度県生協連会費 確定値について
- 2)生協JFEコープが解散。8/8の臨時総代会の解散決議を受け県が認可(9/10付け)
- 3)消費生活協同組合(連合会)等に対する厚生労働大臣表彰で県学校生協が授与。授与式10/31
- 4)平成20年度の費生活協同組合指導検査の対象は、本花壇生協、グリーンコープ生協おかやま、岡山医療生協

## 〈中間監査結果について監事会の報告〉

## 〈協議事項〉

- 1)他生協訪問研修について。北陸(福井・石川県連)生協への訪問を計画。
- 2)平成20年度の岡山県への「要望書」について。10/16提出
- 3)県議会議員との懇談会開催について。実施日は12/5(金)15時～の方向で調整
- 4)県連・単協役員研修交流会を09年1/7(水)に開催。二つの講演を軸に具体化。会場はオルガホール

## 〈案内事項〉

- 1)コープぼうさい塾/わがまち減災・Mapシミュレーション11/11ほか

以上の報告事項、協議事項について承認した。

## 岡山県に「要望書」を提出

岡山県生協連合会は、10月16日(木)、県に「要望書」を提出しました。

要望は、生協の育成、消費者行政、食の安全・食育、災害対策、環境対策、保健・医療・福祉・介護・少子化対策、地産地消運動の分野を中心に24項目となっています。

(要望項目は8ページ)

要望に対する回答は、明年の2月に予定される生活環境部と懇談会でいただくことにしています。



「要望書」を手渡す安場県生協連会長(右)、左は三宅 進 生活環境部参与

## ● ● ● ● 中四国地連・岡山県生協連 コープぼうさい塾 ● ● ● ●

### 約60人が参加して わがまち減災・Mapシミュレーションを開催

11月11日(火)、中四国地連の7県連、12会員生協より組合員、職員などが参加。しばコープの水島 重光さんの指導で減災・Mapシミュレーションを行いました。

岡山市西学区を災害仮想エリアとしたアグルーフの演習は、病院や避難所、生協のお店やスーパー、一人暮らしのお年寄り宅、妊娠婦宅などを赤や青などで地図上にマーク、避難経路を確認するなどを学びました。

「ぼうさい塾」には、岡山県の危機管理課、岡山市の防災対策課からも参加、ご挨拶・助言等をいただきました。また、広島市安佐南区で自主防災活動を行なっている同連合会長の原田 照美氏より報告もいただきました。

参加者からは、「大変参考になった」「地域で連帯して取り組むことの必要性、大切さを改めて認識した」「今日の経験を地元に帰って活かしていきたい」などの感想が寄せられ、県・市行政からも励ましの言葉をいただいて、次につながる有益な「ぼうさい塾」となりました。



↑ ファシリテータの水島さん



↑ 大地県危機管理課参事のご挨拶

# 消費者ネットおかやま・・最近の取り組みから

## ●消費者ネットおかやまが「消費者庁関連法案」の早期審議、法制化の「要望書」を提出

10月1日付けで各政党党首宛に提出しました。(下記の掲載の文書は麻生太郎自民党総裁に送ったものです)

2008年10月1日

自由民主党

総裁 麻生 太郎 殿

消費者ネットおかやま

理事長 河田 英正

### 消費者のための消費者行政新組織の早期創設への要望

秋冷の候、貴党におかれましてはますますご清栄のことと存じます。平素は、消費者団体並びに消費者運動に対しましてご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、麻生新内閣がスタートし、第170回臨時国会での麻生首相の所信表明演説では、「すべからく、消費者の立場に立ち、その利益を守る行政が必要なゆえんであります。既存の行政組織には、事業者を育てる仕組みがあり、そのため訓練された公務員がありました。全く逆の発想をし、消費者、生活者の味方をさせるためにつくるのが、消費者庁であります。国民が泣き寝入りしなくて済むよう、身近な相談窓口を一元化するとともに、何か商品に重大な事故が起きた場合、その販売を禁止する権限も持たせます。悪質業者は、市場から駆逐され、はじめな業者も救われます。

行政の発想そのものをめぐる改革であればあるだけ、甲論乙駁はもっともであります。しかし、国民の不安と怒りを思えば、悠長な議論はしていられません。消費者庁創設に、ご賛同いただけるのか否か……。問い合わせを投げかけるものであります。」と述べられました。

私ども消費者ネットおかやまは、消費者被害の未然・拡大防止につながる活動を展開すべく、岡山における消費者利益を守る受け皿として活動をし、この間、消費者団体訴訟制度のいっそうの充実を図るためにも、消費者行政の一元化が必要であることを求めてきました。

今回提案されている新組織の創設提案は、消費者の権利を尊重し、その自立を支援する専門の行政組織の誕生という意味において画期的なことであり、私たち消費者の期待に応えるものです。

消費者庁関連3法案が、真に消費者のためになるより良い法案となるよう与野党が議論を尽くして政府案を磨き上げ、全会派一致のもとで、早期に実現することを願い、以下に要望します。

#### 記

- 前福田内閣により、閣議決定(9月19日)された「消費者庁関連3法案」が第170回臨時国会に提出・審議され、消費者のための最良の法律として成立されること。
- 新組織が「消費者基本法」の理念を実現するための専門行政組織として、消費者を主役とした社会づくりに向けて強力な「司令塔」の役割を果たすこと。
- 消費者からの相談を受け止め対応する体制の充実を図り、地方消費者行政の強化のため、充分な国支援措置を行うこと。

以上

## うよっと！お知らせ

消費者ネットおかやまが申請していた「特定非営利活動法人」は、10月16日付で

岡山県より設立認証の通知があり、**11月6日に登記完了、NPO法人として成立しました。**

## 「消費者ネットおかやま」のご紹介

「消費者ネットおかやま」は、会員加入を呼びかけています。(年会費1口：個人3千円、団体1万円) 加入会員は、11月10日現在で、個人会員57人(75口)、団体会員11団体(67口)となりました。消費者被害はあとを絶たず、悪質業者の「不当な勧誘行為」や「不当な契約条項」などのトラブルに接している方は増えています。身近なところでの**情報を寄せください**(TEL086-221-4302)。会員でなくとも情報を提供ください。

「消費者ネットおかやま」は、消費者被害を未然に防ぐために、例えば、消費者の視点で「正当な約款」を作ろうと努力される事業者のみなさまのご相談にもお応えします。

# 岡山県消費者団体連絡協議会(県消団連)・・最近の取り組みから

## ●岡山県消団連が第22回岡山県消費者大会を開催【10月31日(金)10:00~12:35 オルガホール】

「食料・農業問題」の関心は高く、参加者は15団体 228名となりました。

大会では、県消団連の安場 靖代表幹事の挨拶につづいて、来賓の岡山県農業協同組合連合会中央会の宮本芳郎専務理事よりご挨拶をいただきました。



↑開会のあいさつ



↑来賓のご挨拶



↑講演中の鈴木 宣弘先生

日本の食料自給率は  
上げられるか

消費者と生産者の絆の強化

へ

鈴木先生は、WTO農業協定に係わるルール・交渉の限界、日本の食料市場の閉鎖性と農業過剰保護論の問題、欧米輸出国の手厚い国内農業支援策、国土環境や健康への影響などについて詳しく解説されました。今後は、経済効率だけの貿易自由化ではなく、国家安全保障、地域社会、環境・健康への影響などを含めた農業の価値を消費者に知ってもらうことが生産者支援の国民的合意のカギをにぎっている。長期的に失うものの大きさも総合的に考えて将来の方向を見出すべきで、生産者と消費者の絆を強めていくことが急務と述べられ、イスラ等諸外国の現状を織り込みながら、消費者の購買行動を見直し、農業補助金を含む予算執行上の問題も検討されるべきだと問題提起されました。

充実した資料と熱のこもったお話しに、参加者からは、「時宜に適い、普段の報道では知り得ないことがわかり勉強になった」「目からウロコが落ちる思い」「資料を

活かしたい」などの感想があった反面、質疑時間をもっととて欲しかったなど運営上のいくつかの指摘もありました。

大会は、①金融危機から家計や中小企業・協同組合の経営を守る万全の措置、②食料自給率を高めるための生産者・流通業者・消費者の協働と実効性ある施策、③「消費者庁関連三法案」の真の消費者保護のための法制化、を国にもとめることを趣旨とする岡山県消費者大会宣言が読み上げられ、最後に県消団連の藤原 忍代表幹事(JA県女性協会会長)の閉会の挨拶で締めくくりました。



↑熱心に耳を傾ける228名の参加者



↑JA女性協の寸劇



↑おかやまコープの報告



↑三井生協の報告



↑大会宣言を読み上げる小阪田さん



↑閉会のあいさつ

### メッセージ・祝電を寄せていただいた

団体・政党・国会議員・県議会議員のみなさま

#### 協同組合・団体・政党

- ・岡山県漁業協同組合連合会 代表理事長 奥野 雄二 様
- ・岡山県森林組合連合会 代表理事長 井手祐一郎 様
- ・岡山県消費生活問題研究協議会 会長 佐藤 久子 様
- ・自由民主党岡山県支部連合会 幹事長 天野 学 様
- ・民主党岡山県第1区総支部 総支部長 高井 崇志 様
- ・日本共産党 元衆議院議員 中林よし子 様

#### 国会議員

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ・衆議院議員 逢沢 一郎 様 | ・参議院議長         |
| ・衆議院議員 加藤 勝信 様 | 参議院議員 江田 五月 様  |
| ・衆議院議員 萩原 誠司 様 | ・参議院議員 谷合 正明 様 |
| ・衆議院議員 津村 啓介 様 | ・参議院議員 姫井由美子 様 |
| ・衆議院議員 あべ 俊子 様 |                |
| ・衆議院議員 柚木 道義 様 | 県議会議員          |
| ・衆議院議員 橋本 岳 様  | ・県議会議長 古山 泰生 様 |

# 会員生協

# トピックス

## 【おかやまコープ】

### 「コープみんなでエコ！2008(エコチャレンジ08)」

「環境問題に关心を持ち、自分自身のライフスタイルを見直す第一歩を踏み出すきっかけをつくること」を目的にした取り組みです。今年度は、日生協の「コープ地球温暖化防止 1000万人のくらし見直しキャンペーン」の提案を受け6月を中心に、エコチャレンジ08をはじめ、マイバッグキャンペーンや環境配慮型商品の普及などにも同時に取り組みました。

期間中、このキャンペーンへは、エコチャレンジ08に、10,550世帯・30,840人の参加があり、約12,211kgのCO<sub>2</sub>削減となりました。

その他、環境関連の企画や学習会に、1,188人。マイバッグキャンペーンなどへ、115,121人の参加がありました。



### ～核兵器と戦争のない平和な世界をめざして～

#### ＜被爆者の方へ手作りの「ひざ掛け」を贈っています＞

美作地域では、長崎市の原爆被爆者特別養護ホーム「かめだけ」に入所されている被爆者の皆さんに18年間、組合員が糸で編んだモチーフをつないで作る「ひざ掛け」を贈り続けています。8月に行われた「ピースアクションinナガサキ」に参加した組合員の代表が「かめだけ」を初めて訪問し、心温まる交流をしました。



#### ＜全米原爆展意見広告掲載への協力＞

広島平和文化センターが被爆の実相を知らせるために、アメリカの101都市ですでに開催している「原爆展」開催を地元新聞、大学新聞に掲載するための掲載料の寄付を全国に呼びかけました。おかやまコープでは平和の募金から50%を寄付することを確認して取り組み、595,710円を寄付しました。

## 【倉敷医療生協】

### 「STOP介護崩壊！介護ウェーブのつどい」

8月23日午後、組合員・職員をはじめ地域の介護事業所から132人が参加して、医療生協会館でが開催されました。

社会福祉法人七野会（京都）理事長の廣末利弥先生の「崩壊の危機にある介護制度の再生を」と題しての記念講演の後、介護現場や介護職場などから報告と発言が相次ぎました。介護保険制度の問題点や矛盾、介護サービスを受けたても受けられない実態、支払い能力を超えた負担に苦しんでいる事例など浮き彫りになりました。

今後、介護ウェーブの活動の輪を大きなうねりにしていくことを確認しあって閉会しました。



### 認知症サポーター養成講座で35人のサポーターが誕生

8月20日に医療生協会館で、8月28日には阿新診療所で認知症サポーター養成講座を開催。

「やさしく穏やかなサポーターになりたい」「ちょっと手助けできるまちづくり、に生かしたい」との積極的な感想が寄せられました。

サポーターの活躍が大いに期待されます。



# 会員生協

# トピックス

## 【学校生協】

### 「継続組合員の集い」

2008年6月21日（土）10：00～12：00

2007年度末に教育職場を退職された組合員の皆さんにお集まりいただき、学校生協の組合員特典や今後の利用方法・新規事業などについて説明をいたしました。

多くの参加者から「ぜひ、活用したい」や「もっと早い時期に聞きたかった」などのご意見をいただき有意義な集いとなりました。



## 【津山医療生協】

### 一年あきの組合員旅行です



10月19日（日）組合員のバス旅行が行われました。86名がバス2台で、行き先は出雲～松江。

メインは松江の堀川めぐり。情緒ある松江を堀から見上げる人気のコースです。当日、好天にめぐまれ、さらに運良く松江の祭り『どう行列』も見られて秋の山陰を堪能しました。

## 【岡山医療生協】

### いざという時のために 子育て班の交流会で救急蘇生法の学習をしました。

協立病院の角南医師をはじめとした救急蘇生法のための専門スタッフと一緒に実技をし、大変好評でした。  
真剣な表情の傍で子どもたちは何だか嬉しそうでした。

## 【岡山県労済生協】

### 全労済 岡山県本部事務担当者研修会を開催



9月30日（火）、ホテルグランヴィア岡山にて

220名を超える出席者で、研修会は成功裏に終了しました。



## 【三井造船生協】

10月11日(土)、家庭会によるチャリティーバザーが玉野レクセンターで開催されました。

これには、福祉委員会が中心となって開催準備を行い、多くの人が賑わいました。



## 10月16日に岡山県に提出した要望内容の要旨

### 1. 生協の育成・強化について

消費生活協同組合運営指導委託料について、「継続」を要望します。

### 2. 消費者行政について

消費者行政の一元化と地方の消費者行政充実・強化の方向に沿って、県の施策の実行を期待します。

- ① 消費者行政部門に勧告権など司令塔的機能を位置づけ、関係部署の連携を強めて、人員・財政面の充実を図ってください。
- ② 市町村の消費生活相談窓口業務の充実に向けて、県の支援、指導を継続し、消費生活センターが、「相談受付から助言・斡旋・紛争解決まで一貫して対応できるように、相談員の待遇改善など人員・財政面の強化を図ってください。
- ③ 特定商取引法、景品表示法、消費生活条例等に基づく取締りを行う上で、人材や予算の確保などの充実に努めてください。
- ④ 消費生活基本計画の進捗について、検証・評価・監視を毎年実施し、必要な見直しを継続してください。
- ⑤ 「消費者団体訴訟制度」を充実させるためにも、例えば消費者ネットおかげに対して、情報が適宜提供されるよう提供方法を含めてご検討ください。消費生活条例のなかに対応する条項を設けることなど、何らかの協定を結ぶことを含めて。
- ⑥ 消費者啓発活動、消費者教育について、ひきつづき、県独自の「啓発システム」の充実と機動性の強化をのぞみます。
- ⑦ 消費者と消費者行政をめぐる環境は流動的であり、「消費生活懇談会」は少なくとも半年に1回程度の定期開催を要請します。

### 3. 食の安全・食育について

県のこの間の食の安全・食育に関する「条例」の制定や「推進計画」の策定及びその実行・具体化に敬意を表します。

- ① 施策や指導計画の実行後、その進捗状況や結果を逐次公表し、ひきつづき、リスクコミュニケーションを強めてください。
- ② 食品への“テロ”“偽装”“不正転売”などに関しては、社会システムの整備とともに、行政や関係機関の連携のもと事業者指導など、県としての具体的な施策検討を要望します。
- ③ BSEスクリーニング検査の全頭実施は、生産振興にもつながっています。科学的知見を基に、県民の納得を得られるまでは、20ヶ月齢以下の若牛を含めて県として検査を継続するとともに、検査費用は国の負担で行うよう働きかけてください。
- ④ 食中毒、各種食品検査結果等の情報の迅速な提供はもとより、健康食品等の監視、消費者にとって分かりやすい適正表示に関する指導を強化してください。

### 4. 災害対策について

岡山流通情報懇談会との「災害時物資協定」の締結、生協の「防災・減災セミナー」等へのご指導・ご支援に感謝します。

大災害発災時における民間(企業等)との防災システムの連携が緊密に図れるようにのぞみます。  
また、新型インフルエンザ感染に関する防災対策及び施設・設備等の環境整備対策を急いで策定されることを要望します。

### 5. 環境対策について

- ① 「レジ袋無料配布取り止めに関する協定」について、全県下を対象にした協定の締結をすすめてください。
- ② マイバッグ運動、もったいないごみゼロコン等の事業評価結果を公表し、取り組み効果が確認できる事業を実施してください。

### 6. 保健・医療・福祉・介護・少子化対策について

- ① 政府管掌健康保険の運営が都道府県単位に移行されます。このことで保険料の値上がりに繋がらないよう求めます。
- ② 負担増と差別的医療を持ち込む「後期高齢者医療制度」について、中止・撤回するよう国に要請してください。
- ③ 入院時食事療養費負担金への助成対象として、重度身体障害者・乳幼児など公費減免の対象者へも枠を広げてください。
- ④ 障害者自立支援法に関するすべての利用者負担を、本人の応能負担にするよう国に働きかけてください。
- ⑤ 介護報酬見直しは、ヘルパー等への待遇改善を図り、低所得利用者の負担増とならぬよう国に措置を要請してください。
- ⑥ 少子化対策のためにも、産科・小児救急などの体制を市町村の実態に即して整備・充実してください。

### 7. 産消提携、地産地消運動について

- ① 今日の穀物飼料などの高騰は、畜産・酪農生産者の経営を直撃しており、その影響は、小売業の経営、消費者の家計への負担にもつながっています。経営、財政支援について、国への要請を含めて支援措置をのぞみます。
- ② 世界の食料事情は、人口、気象、経済、エネルギー問題などを背景に深刻な問題になっており、食料の安全保障の観点からも、日本の食料自給率を向上させることは急務です。  
政府は、向こう10年を目途にわが国の食料自給率を50%に引き上げることを宣言しましたが、県としても食料自給率の目標値をかかげて、実効性ある具体的な施策を求める。

### 8. その他

今日の諸物価高騰による県民の消費生活への影響が大きくなっています。県財政への影響も避けられない事情は理解できますが、各種手数料などを含む県所管の公共的料金について、県民にスライド転嫁しないよう要望します。